

直昇手動オーバードア

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

<施工の前に>

■設置場所の確認

- 施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- 主屋の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
- 開閉時に扉が公道(道路)等へ飛び出さない位置かどうか確認してください。

■規格表、梱包明細で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

■組立、施工途中では

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け固定してください。
- 取付説明書の順序通り組付けてください。製品の強度等、性能を低下させる場合があります。
- アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。

■基礎工事について

- 基礎寸法は、取付説明書の通りの寸法としてください。地盤の種類によっては、倒壊の危険性が発生します。
- 基礎コンクリートには、塩分を含む砂、および塩素系のモルタル混和剤を使用しないでください。

■製品の改造は絶対に行わないでください。

また、支柱内に圧縮バネが入っていますので分解は大変危険です。絶対分解しないでください。

■施工完了後は

- ボルト、ネジ等に緩みがないか確認してください。
- 施工中の汚れは取除き、誤ってつけたキズは、補修塗装してください。

■施工終了後、取付説明書は取扱説明書といっしょに施主様にお渡しください。

<施主様へ>

■使用前に必ず<取扱説明書>をお読みください。

1. つづき

()内寸法は扉本体H12の場合

W H	オーバードア (W27・30型)	ワイドオーバードア (W33~60型)
標準	(1200) 1000 170 90 49 878 150 1077 1041 1850 (有効通過高さ) 2030 (2120) 必要高さ	8 (1200) 1000 170 90 64 878 150 1092 1041 1850 (有効通過高さ) 2045 (2135) 必要高さ
ハイ ル ーフ	52 (1200) 1000 170 90 49 1028 150 1227 1191 2150 (有効通過高さ) 2330 (2420) 必要高さ	60 (1200) 1000 170 90 64 1028 150 1242 1191 2150 (有効通過高さ) 2345 (2435) 必要高さ

■梱包明細書

①柱セット

名 称	員 数			
	W27・30型		ワイドオーバードア	
	H標準	Hハイルーフ	H標準	Hハイルーフ
手動支柱標準用(右)	1	—	1	—
手動支柱ハイルーフ用(右)	—	1	—	1
手動支柱標準用(左)	1	—	1	—
手動支柱ハイルーフ用(左)	—	1	—	1
上アーム・標準用	2	—	2	—
下アーム・標準用	2	—	2	—
上アーム・ハイルーフ用	—	2	—	2
下アーム(右)・ハイルーフ用	—	1	—	1
下アーム(左)・ハイルーフ用	—	1	—	1
扉取付金具補助スプリングユニットAssy(右)	1	1	1	1
扉取付金具補助スプリングユニットAssy(左)	1	1	1	1
扉取付金具裏板	2	2	2	2
接地ストッパーセット	2	2	2	2
埋込み金具	1	1	1	1
チェーン	1	1	1	1
補助スプリングユニット取付ピン	2	2	2	2
補助スプリングユニット取付六角袋ナット	2	2	2	2
補助スプリングユニット取付平座金 呼5	2	2	2	2
扉取付ボルト M8×15(Wセムス)	4	4	4	4

名 称	員 数			
	W27・30型		ワイドオーバードア	
	H標準	Hハイルーフ	H標準	Hハイルーフ
扉取付金具取付ネジ M6×12バインド(セムス)	12	12	12	12
アーム取付ネジ M6×12バインド(セムス)	12	12	12	12
アーム連結棒取付ネジ M6×12バインド(セムス)	8	8	8	8
アーム連結棒固定バンド	—	—	1	1
アーム連結棒固定バンド取付ネジ φ4×19ピラス	—	—	1	1
支柱キャップ	2	2	2	2
φ4×10トラスタッピン	4	4	4	4
取付説明書	1	1	1	1
施主様用取扱説明書	1	1	1	1

②扉セット

名 称	員 数
本体	1
框キャップ(右)	1
框キャップ(左)	1

③直昇用連結棒

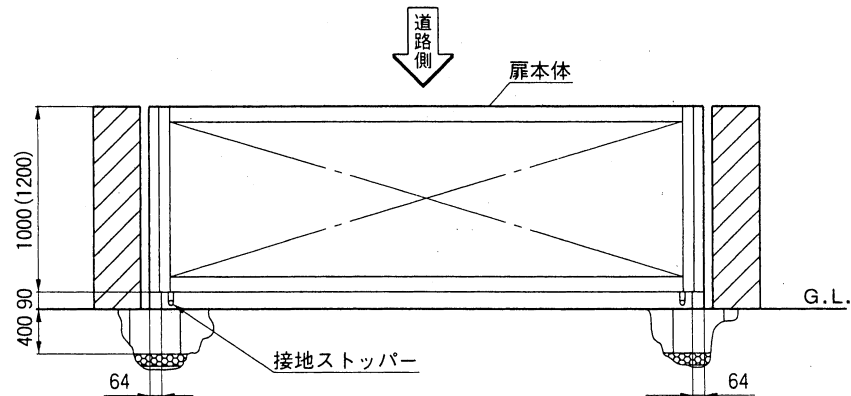
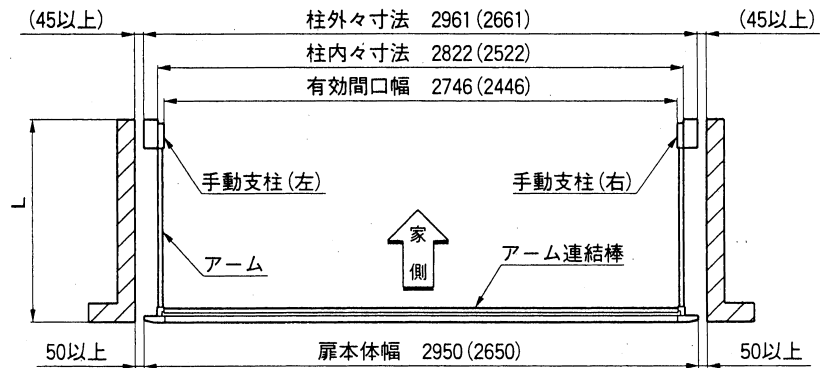
名 称	員 数
アーム連結棒	1

1. 姿図および基本寸法図

1-1 オーバードア(W27・30型), ワイドオーバードア(W33~60型)

	サイズ	扉本体幅	柱外々寸法	柱内々寸法	有効間口幅	L	
						H標準	Hハイルーフ
オーバードア	27型	2650	2661	2522	2446	1077	1227
	30型	2950	2961	2822	2746	1077	1227
ワイドオーバードア	33型	3250	3261	3122	3045	1092	1242
	36型	3550	3561	3422	3345	1092	1242
	39型	3850	3861	3722	3645	1092	1242
	42型	4150	4161	4022	3945	1092	1242
	45型	4450	4461	4322	4245	1092	1242
	48型	4750	4761	4622	4545	1092	1242
	51型	5050	5061	4922	4845	1092	1242
	54型	5350	5361	5222	5145	1092	1242
	57型	5650	5661	5522	5445	1092	1242
	60型	5950	5961	5822	5745	1092	1242

1-2 オーバードア(W27・30型)



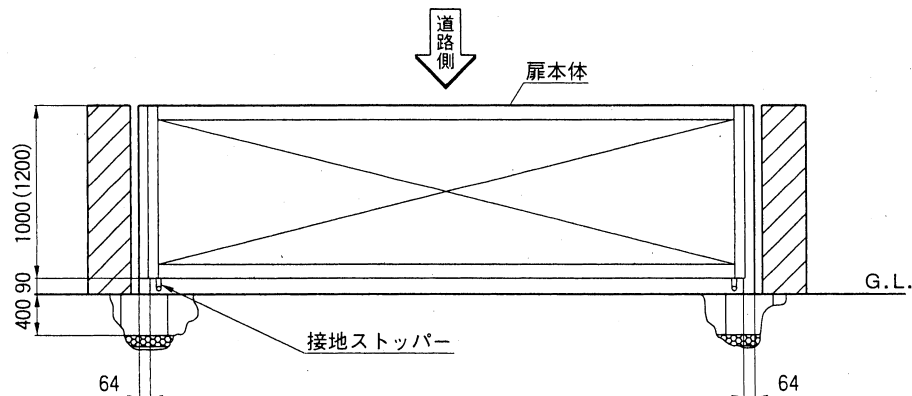
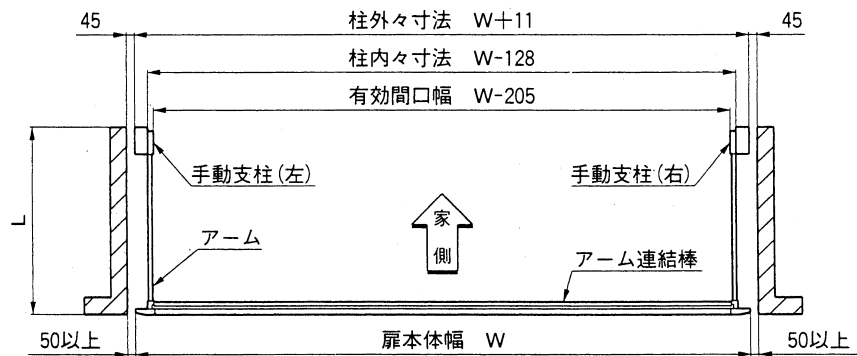
() 内寸法 W : 27型

<注 意>

- 本図は、W30型 H10扉本体とH標準支柱を示します。

() 内寸法 H : 12

1-3 ワイドオーバードア(W33~60型)



() 内寸法 H : 12

<注 意>

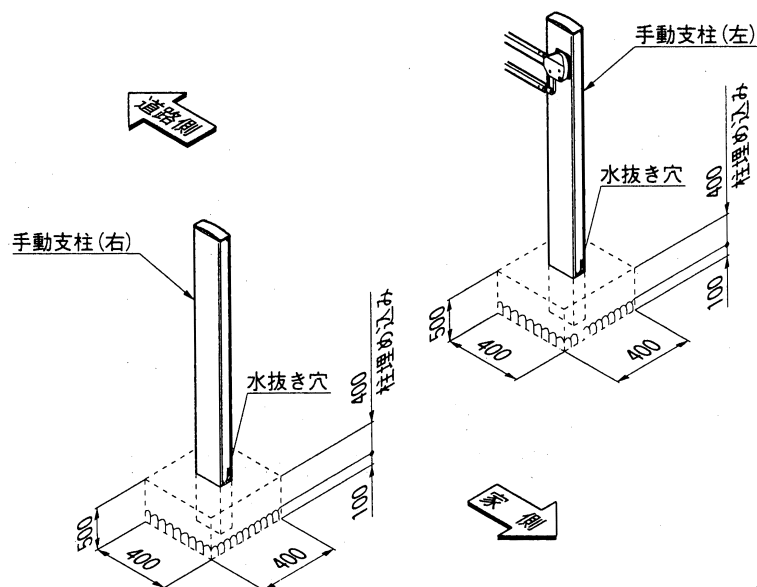
- 本図は、W51型 H10扉本体とH標準支柱を示します。

2. 基礎施工寸法

2-1 施工寸法

施工方法は「1. 姿図および基本寸法図」どおりに柱の家側を一直線上にしてください。

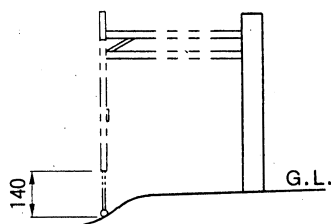
2-2 施工



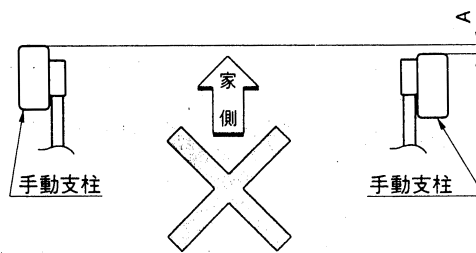
<注 意>

- 支柱の埋込み位置・高さ・垂直度・水平度を十分に調整してください。調整が不十分な場合、扉の作動に支障が生じる事があります。
- 水抜き穴は確実にG.L.面より上に出してください。水抜き穴より上までモルタルを入れると中に水がたまり、故障の原因となります。

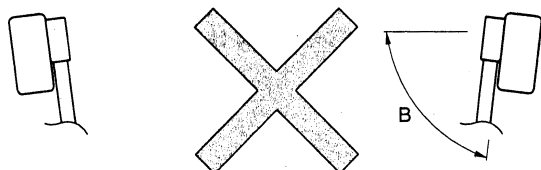
<施工時の注意>



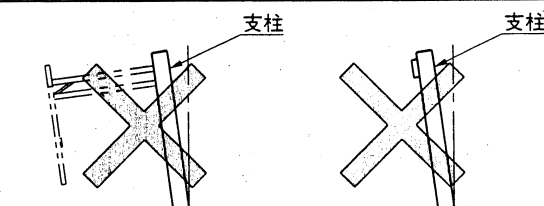
- 水切勾配がある所に施工するときは、支柱埋込位置と扉取付位置との勾配差をできるだけ少なくしてください。最大140mmまで調整できます。それ以上すき間があるときは、オプションのロング接地ストッパーセットを使用してください。(＋100mm, ＋200mm対応可)



- 左右の支柱が前後にずれないように施工してください。(A寸法が0であること。)



- 左右の支柱を平行に、施工してください。(B角度が90°であること。)

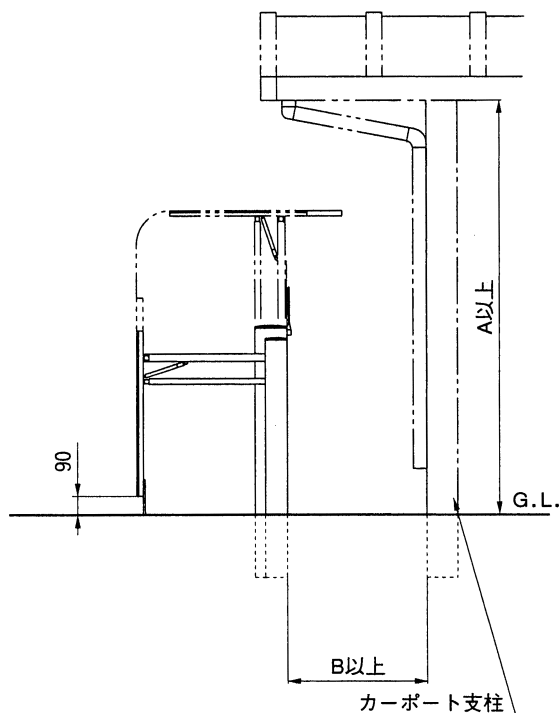


- 左右の支柱を水準器で確認し、垂直に施工してください。

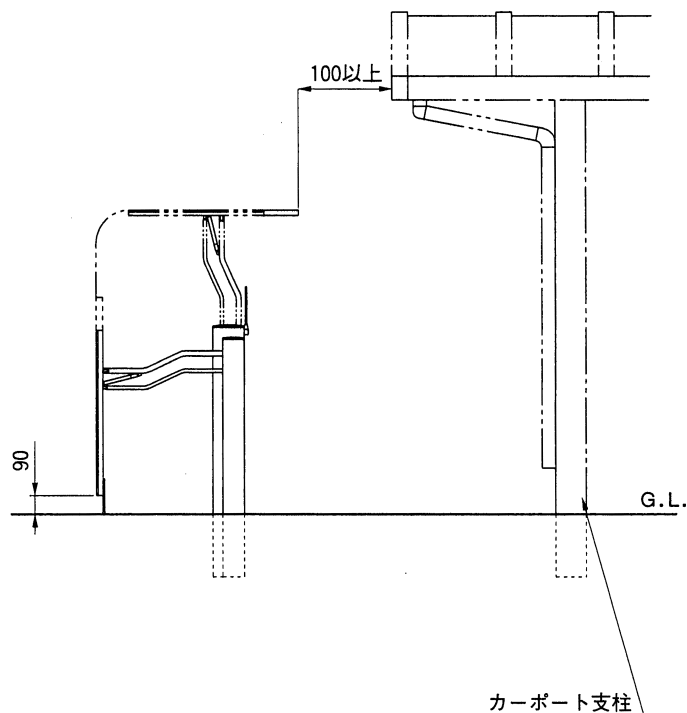
2. つづき

2-3 カーポートとの位置関係図

<カーポートの下に入れた場合の施工例>



<カーポートの外に出した場合の施工例>

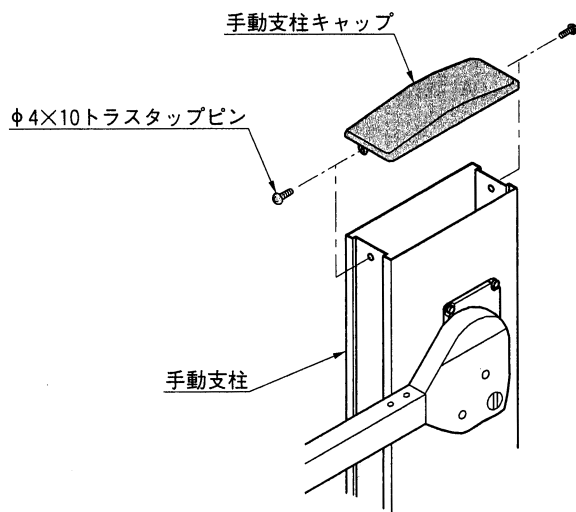


<注 意>

- カーポートの下に入れる場合、カーポートはすべてロング柱の使用が条件となります。
- カーポートの下に入れる場合、A 及び B 寸法を各カーポートの取付説明書を参照し施工してください。
A 及び B 寸法が不足すると、扉をあけた時に扉がカーポートに当たり、開閉できない場合があります。
- Hハイルーフの場合、カーポートの下に入れる施工はできません。カーポートの外に出して(桁下からずらして)施工してください。

3. 支柱キャップの取付け

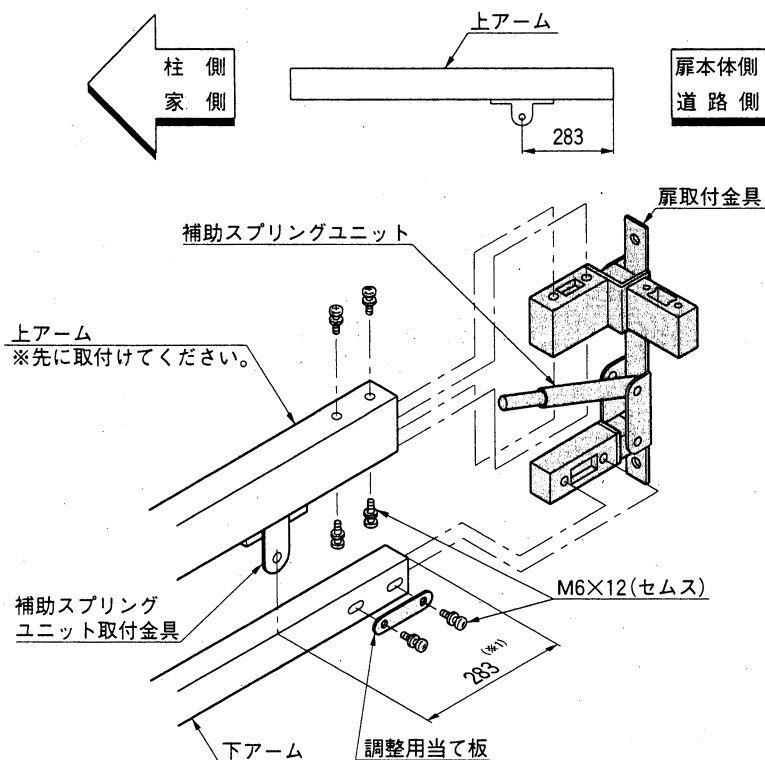
※ 支柱を埋設する前に必ず支柱キャップを取付けてください。
支柱内に雨水等が入り、故障の原因となります。



- ① 支柱に、それぞれ支柱キャップを支柱キャップ取付 ネジ(φ4×10トラスタブピン)で取付けてください。

4. 扉取付金具の取付け

4-1 標準の場合

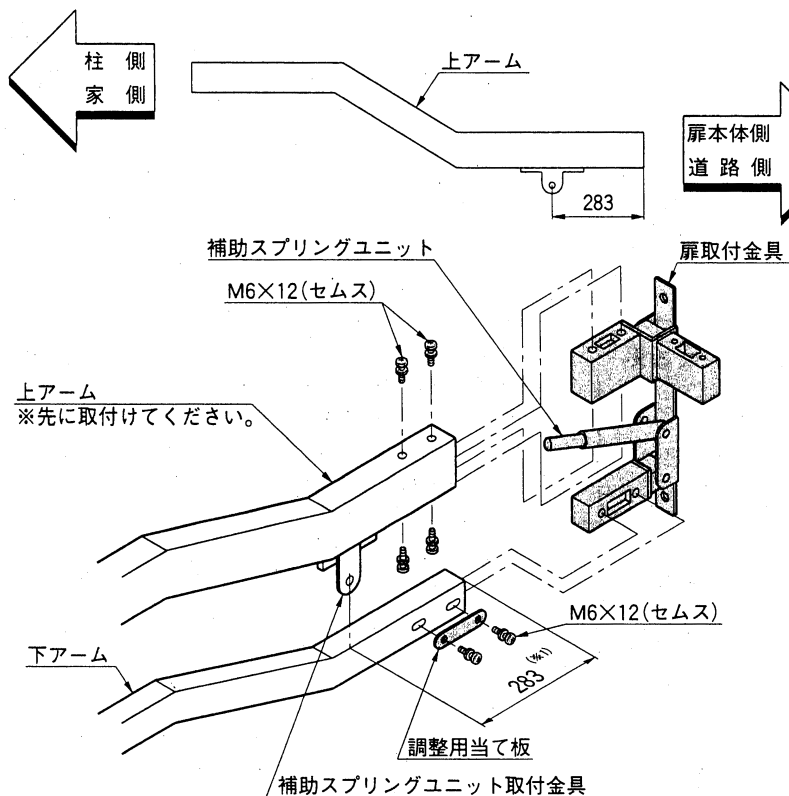


- ① 扉取付金具 (右) (左) に上アームを、扉取付金具取付ネジ (M6×12セムス) で取付けてください。
- ② 扉取付金具 (右) (左) に下アームを調整用当て板を用い、扉取付金具取付ネジ (M6×12セムス) で取付けてください。

<注 意>

- (※1) 上アームの補助スプリングユニット取付金具の位置に注意してください。端部より283mmの位置を扉側にしてください。
- 下アームは長穴の中心で取付け、施工後扉が垂直になるよう前後に調整してください。

4-2 ハイルフの場合



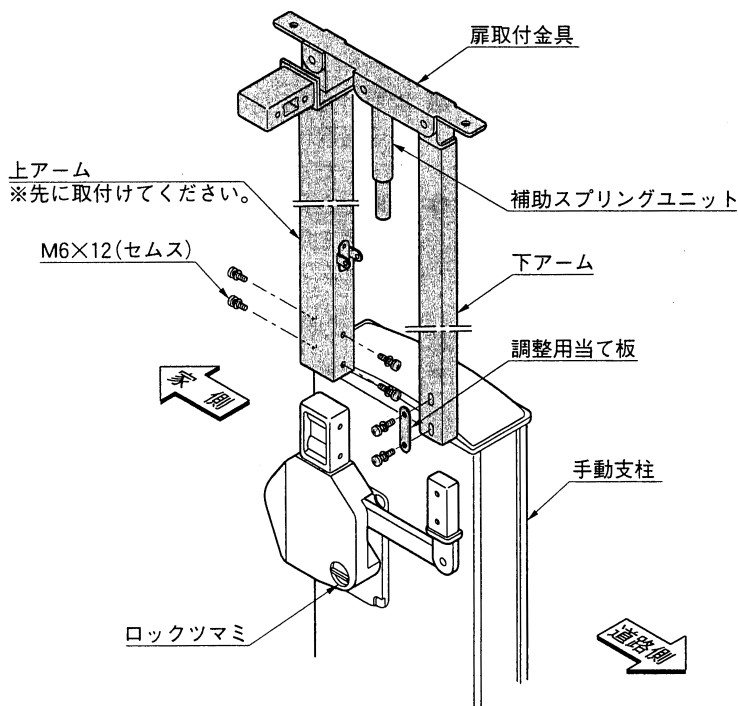
- ① 扉取付金具 (右) (左) に上アームを、扉取付金具取付ネジ (M6×12セムス) で取付けてください。
- ② 扉取付金具 (右) (左) に下アームを調整用当て板を用い、扉取付金具取付ネジ (M6×12セムス) で取付けてください。

<注 意>

- ハイルフの場合、アームを取付ける向きに注意してください。また、下アームには左右がありますので注意してください。
- (※1) 上アームの補助スプリングユニット取付金具の位置に注意してください。端部より283mmの位置を扉側にしてください。
- 下アームは長穴の中心で取付け、施工後扉が垂直になるよう前後に調整してください。

5.アームの取付け

5-1 手動支柱のアーム取付け



① 扉取付金具を取付けた上アームを、アーム取付ネジ(M6×12セムス)で取付けてください。

② 扉取付金具を取付けた下アームを、アーム取付ネジ(M6×12セムス)で取付けてください。

<注意>

- 扉取付金具には左右がありますので確認の上、取付けてください。

③ アームを取付けた後、上アームが水平になるように回転させてください。

<注意>

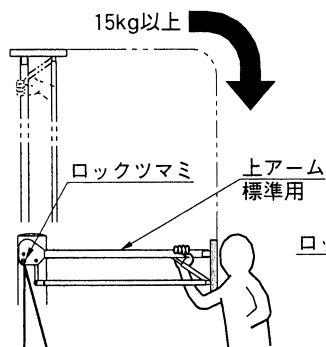
- 必ずロック解除状態でアームを回転させてください。
- できるだけ上アームの先端を握って回転させてください。握る位置が支柱に近づくほど大きな力が必要です。
- アームを回転させるには15kg以上の力が必要です。アームの回転の途中で手を離すとアームが跳ね上がり、駆動部が破損するおそれがあります。

④ 上アームが水平な状態で、ロックツマミを押し込んでアームをロックしてください。

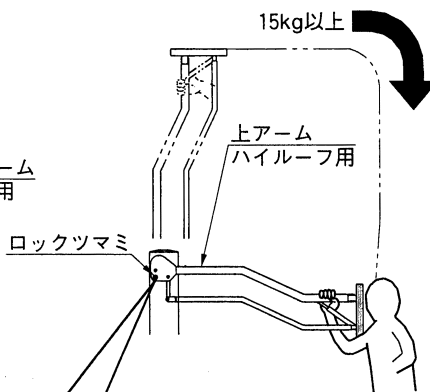
<注意>

- 扉の取付けが終わるまでロックは解除しないでください。ロックを解除するとアームが跳ね上がり危険です。ケガをしたり、駆動部が破損するおそれがあります。
- 補助スプリングユニットをアーム等に当てたり、ねじったりしないでください。

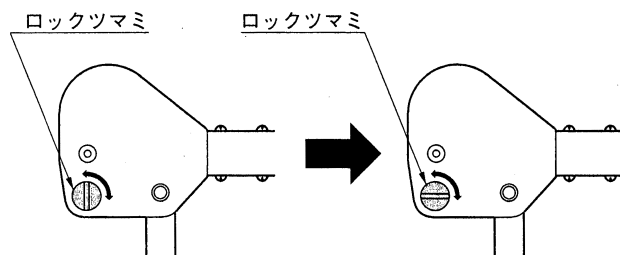
(1)標準の場合



(2)ハイルーフの場合



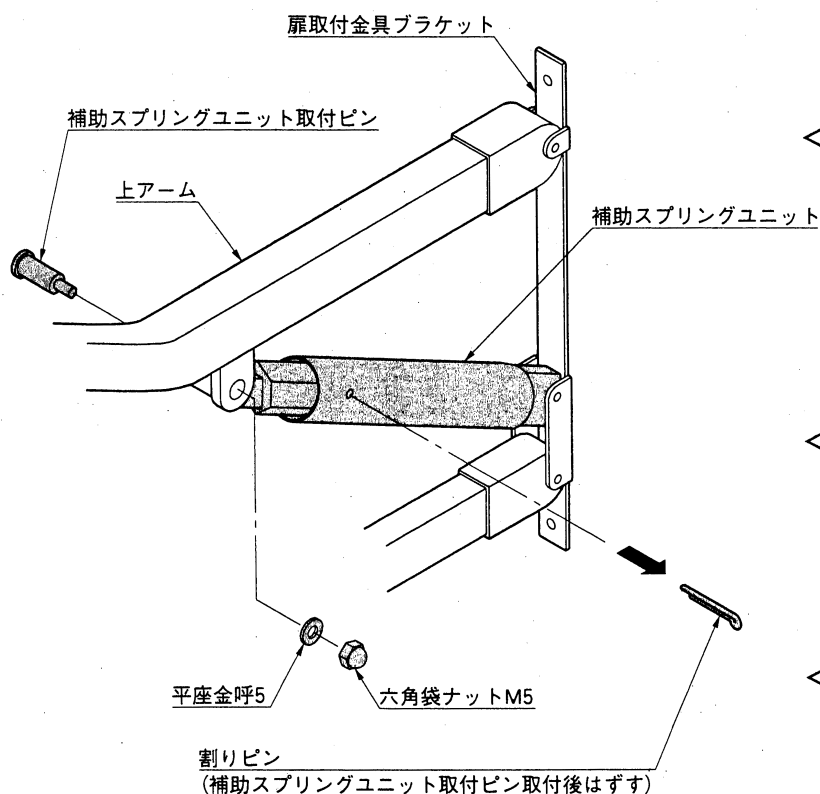
ロックツマミを押し込んで、ツマミが水平な状態になるまで回してください。



解除状態

ロック状態

6. 補助スプリングユニットの取付け



- ① アームを少し下側に押し込み、補助スプリングユニットおよび上アームの取付金具の穴へ補助スプリングユニット取付ピンを挿入してください。

<注意>

- バネの力により上側へアームが向いている為下側へ押し、アームを水平にして挿入してください。

- ② 平座金呼5と六角袋ナットで確実に締めこんでください。

<注意>

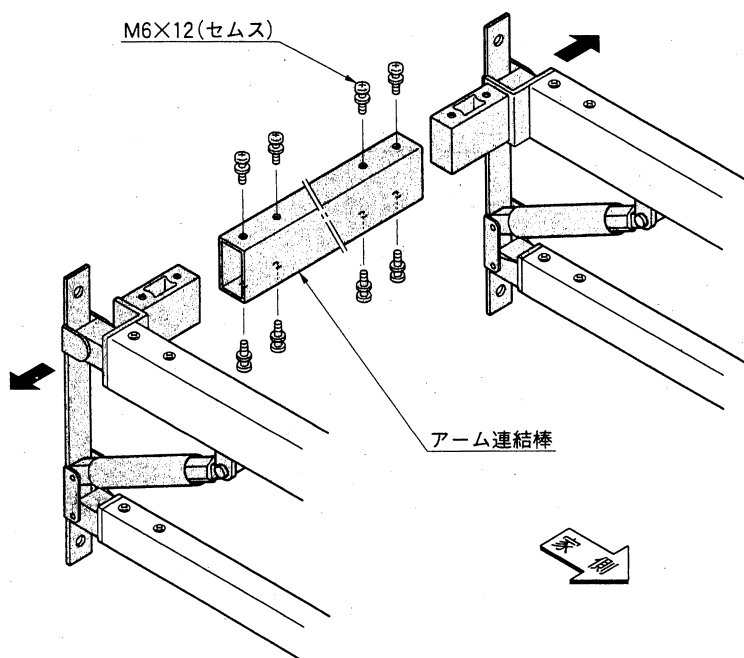
- 取付ピン、六角ナットをスパナを用いて確実に締め込んでください。

- ③ 割りピンを取りはずしてください。

<注意>

- 割りピンを付けたまま動かすと補助スプリングユニットが故障しますので必ずはずしてください。

7. アーム連結棒の取付け



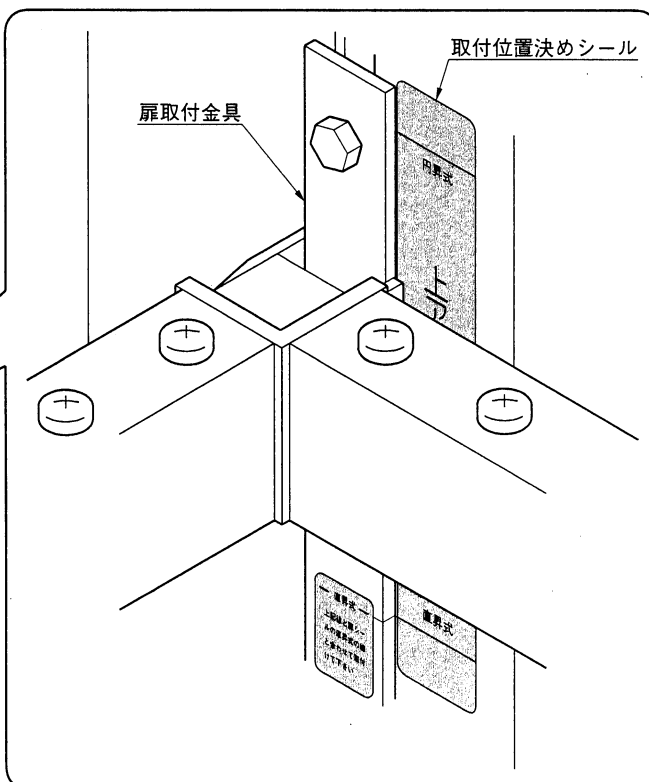
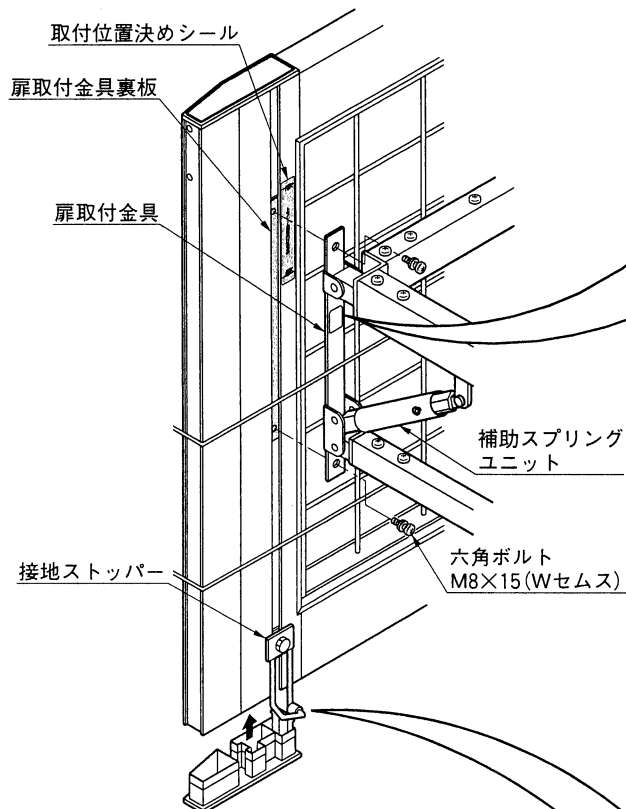
- ① 左右のアームを少し横に広げてアーム連結棒を扉取付金具に差込み、アーム連結棒取付ネジ(M6×12セムス)で取付けてください。

<注意>

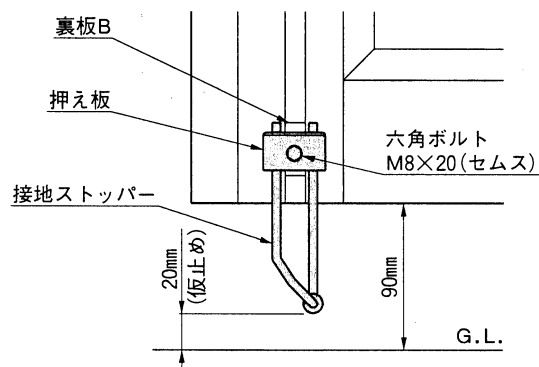
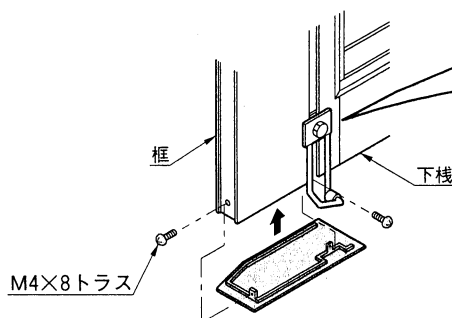
- アーム連結棒を取付けるネジはしっかり締めつけてください。しっかり締めつけないと扉の開閉に支障をきたします。

8.扉の取付け

(1) W27・30型の場合



(2) ワイドオーバードアの場合



❶ 扉取付金具裏板を框の下からミズに差込み、扉とアームを取付けます。

❷ 扉取付金具に付いているシールの線と、扉本体に付いている「取付位置決めシール」の中の「直昇式」の中心の線に合わせて扉取付ボルト(M8×15Wセムス)で取付けてください。

<注 意>

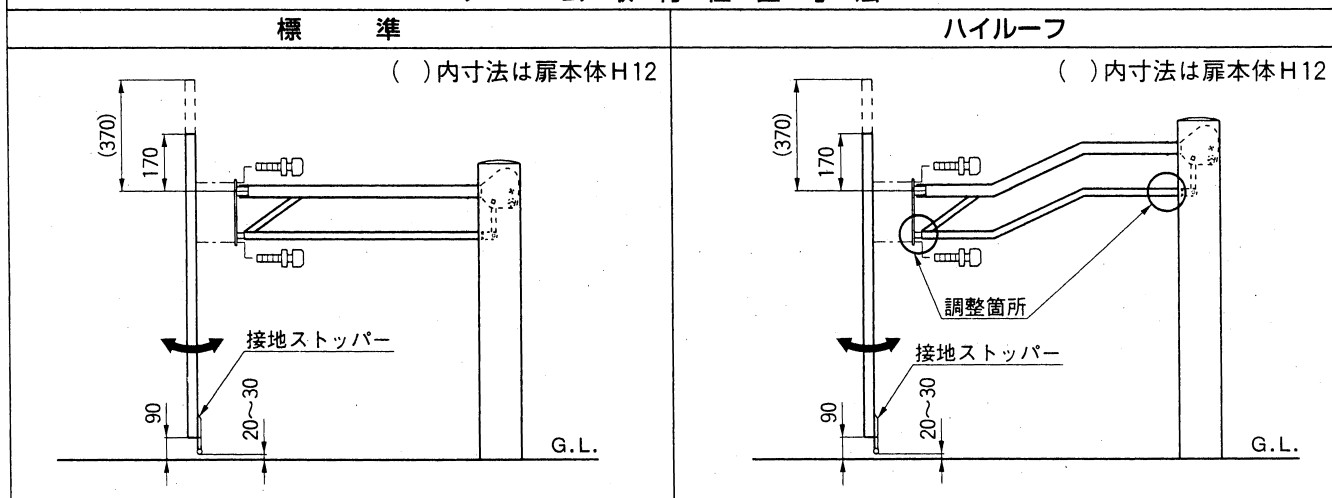
● 扉とアームの取付け位置がずれていると扉の開閉に支障をきたします。アームの取付け位置、取付け寸法を必ず確認してください。(P11 A図参照)

❸ 接地ストッパーはG.L.から20mm浮かせた状態で取付けてください。(P11 A図参照)

❹ W27・30型の場合、キャップのツメが金具に引っかかるように押し込んでください。また、ワイドオーバードアの場合、M4×8トラスネジ2本にて取付けてください。

8. つづき

アーム取付位置寸法

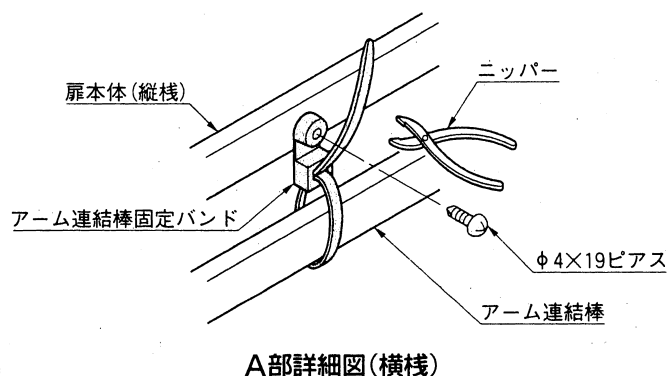
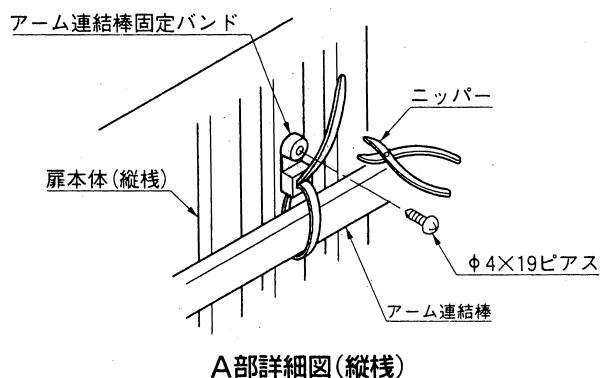
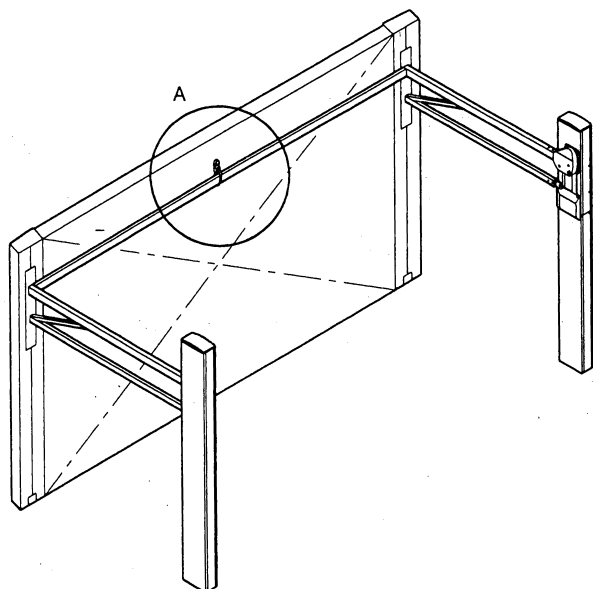


A図

<注意>

- 扉取付け後、扉が垂直になるよう下アーム部で調整してください。

9. アーム連結棒固定バンドの取付け (ワイドオーバードアの場合のみ)

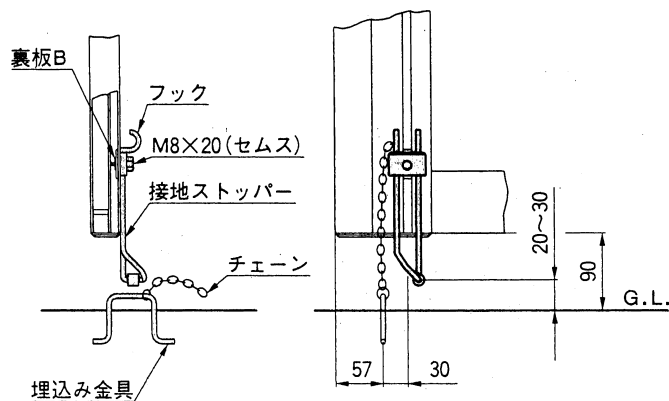


- ① アーム連結棒の中心部にアーム固定バンドを巻き、扉本体の横横または縦横にφ2の下孔をあけ、アーム連結棒固定バンド取付ネジ(φ4×19ピアス)で組付けます。あまったバンドはニッパー等で切断してください。

<注意>

- ワイドオーバードアの場合、扉の開閉時に連結棒のゆれを防ぐため必ず固定バンドで固定してください。
- 固定バンドを締め付けすぎないようにしてください。

10. 埋込み金具の施工

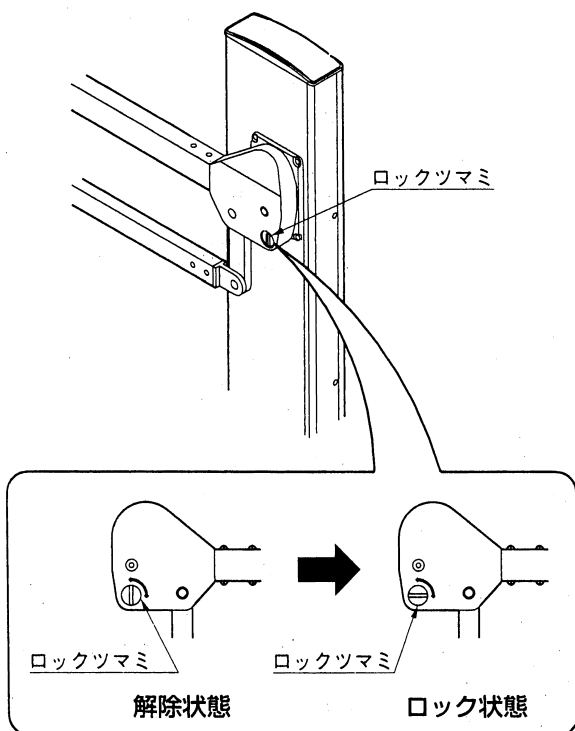


- ① 埋込み金具にチェーンをとおしてから、埋込み金具を埋込んでください。

<注意>

- 埋込み金具は左右のどちらかの接地ストッパーの横に埋込んでください。
- 本体をおろした時に接地ストッパーがG.L.にあたらなようにすき間を20~30あけてください。

11. ロックツマミの使用方法 ※ 全閉時に扉を固定(ロック)する場合に使用します。



- ① ロックする場合はロックツマミを押し込んで、ツマミが水平な状態になるまでまわしてください。

- ② ロックを解除する場合はロックツマミを押し込んで、ツマミが垂直な状態になるまでまわしてください。

<注意>

- 夜間および強風時等は安全のため、ロックツマミをロック状態にして扉を固定してください。
- 扉を開閉する場合、必ずロック解除してください。ロック状態のまま扉を開けないでください。扉破損の原因になります。

工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取ってください。また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取ってください。

取説コード

D278

98-03A
200012E